

伊藤勝美（公明党）

自然還元式（排泄溝）
トイレの拡充策は

問 自然還元式トイレの第1号ができた。いざというときのために、早くも全避難所に設置していくべきだと考える。今後の拡充策について伺う。

答 資機材の収納が可能であり、かつ十分な敷地を確保できる条件を満たせるのは小中学校しかないと考えられるので、学校を管理する教育委員会との調整を進めて行きたい。

緊急用アドレナリン
自己注射の取り扱い

問 食物アレルギー等が原因で起こるアナフィラキシーショックに対処するための緊急用アドレナリン自己注射の教職員による取り扱いについて伺う。

答 症状を起こす疑いがある生徒は、健康調査で中学校10名、小学校17名と把握している。取り扱いに

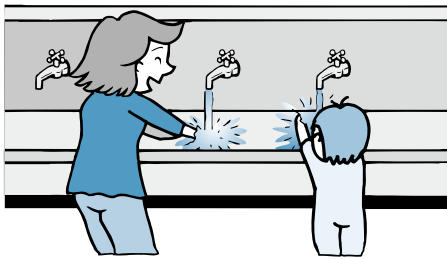
ついて十分理解するように指導しているところである。

柴田安彦（日本共産党）

ピークカットによる承認
基本給水量の引き下げ

問 地震が起きたときの非常時の水は、耐震水槽を想定しない場合でも4200トンの余裕がある。この水を使いピークカットをするべきだと考えるが、承認基本給水量をどのぐらいに抑えようとしているのか。

答 今年度3万6000㎡で県から承認されている。実際には、最高になる夏場の給水量が3万4000㎡であるが、この水量決



定は温水による節水を考慮に入れたものであるため、約2000㎡の余裕がある。

問 ピークカットの目的は、承認基本給水量をピークカットで下げ、県への支払いを安くし、水道料金の値下げにある。承認基本給水量を下げずにピークカットを行うのは何のためか。

答 夏場に需要量が大幅に増加し、受水量が突出することが考えられることから、承認基本給水量を超えないようにピークの標準化を図るためである。

新実祥悟（無会派）

指定管理者制度の
導入見送り

問 蒲郡市集中改革プランで平成22年度から指定管理者制度の導入を予定している施設は、予定通り募集していくのか。

答 平成22年度の指定管理者の新規予定はない。ひめはる荘への導入をなぜ見送ったのか。

答 利用者数も減少していることもあり、今年度

に廃止を含めて検討することにしたためである。

三河湾の環境改善
について

問 三河湾の環境改善への本市の取り組みを伺う。

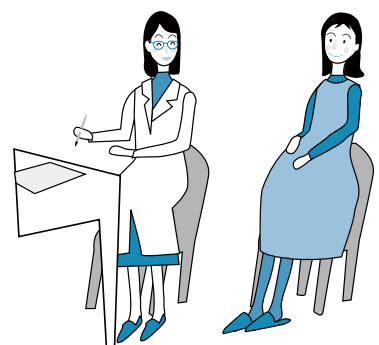
答 本市は三河湾浄化推進協議会豊川流域部会に属しており、啓発グッズの配布、海の大切さをPRする三河湾環境講演会、海岸の漂着ごみ・散乱ごみの回収、アオサの除去作業を実施している。また、国、県の補助を受け、アマモの移植作業を行っている。

松本昌成（公明党）

女性特有のがん検診
推進事業について

問 新経済対策では女性のがん対策があるが、市の取り組みを伺う。

答 子宮頸がん検診は20歳から40歳まで、乳がん検診は40歳から60歳まで、それぞれ5歳刻みの対象者の「がん検診台帳」を整え、検診費用が無料となる「が



スクールニューデール
構想

問 市の取り組みについて伺う。

答 平成21年度から23年度で全学校に太陽光発電装置の導入、校舎耐震化の前倒し、電子黒板機能の付加が可能なデジタルTVを全学校の校舎各フロアに1台導入、中学校6校分のコンピュータ教室用パソコンの更新等を計画している。